

令和 2 年度第 2 回徳島市立考古資料館書面協議会録(書面会議)結果報告

I 発送日時 令和 3 年 3 月 23 日 (火)

II 郵送先 協議会 中村会長・須藤副会長・元木委員・清水委員・菅原委員・
細井委員・湯浅委員

III 書面表決書の返信状況

委員 7 名への発送に対し、7 名全員からの返信がありました。

IV 議題 1 令和 2 年度第 1 回徳島市立考古資料館協議会抄録報告について

- (1) 異議なし 7 名
- (2) 異議あり 0 名
- (3) ご意見等

・いつも丁寧にとまとめてもらい、感謝しています。年報にも掲載されることで
すし、意見の記録があれば、活動の検証も容易ですので、しっかり活用してく
ださい。

V 議題 2 令和 2 年度徳島市立考古資料館事業報告について

- (1) 異議なし 6 名
- (2) 異議あり 0 名
- (3) 表記なし 1 名 ※表記なしについては、「異議なし」として扱います。
- (4) ご意見等

①事業活動全般について

・コロナ禍のなか、工夫をされて、展覧会、普及事業を実施された点は高く評
価されます。

②常設展示のリニューアルについて

・純白に見える新しい展示台は、好みの分かれるところだと思いましたが、「新
しくした」感は伝わると思います。

・「中世」を加えたことで、弥生～古墳を圧縮したが(主に古墳時代)、テーマ
性を持たせた塊の展示は精選感があって良いのではないのでしょうか。

・ジオラマは手作り感満載が、これも意見の分かれる所だと思います。そのイ
メージが展示のレベルに繋がってしまうおそれがあるのではと考えます。

・展示のキャプションは高齢者(たぶん来館者の多くを占める)の目でも読め
る大きさを目指してほしいと思います。

・埋蔵文化財センターの県立部分と財団部分の仕分けですが、難しいとは思
いますが、正確な表記を願います。

③特別企画展について

・「音の考古学」、楽しく拝見しました。これからもテーマを絞った魅力的で意欲的な企画を期待します。

④企画展展示解説会について

・展示解説会は 8 月協議会における計画にはなかった追加事業なので、積極的展開は望ましいのでそのことがわかる資料にしてはいかがでしょうか。

⑤遺跡と遺物に学ぶ考古学講座について

・遺跡と遺物に学ぶ考古学講座、内容は本資料館の有利な立地を活かしたもので、良い企画だったと思います。

⑥体験学習活動の受入れ・出前授業について

・埋蔵文化財センターも 10 月に集中的に学校単位の体験学習(修学旅行代替行事含む)を受け入れました。

⑦調査研究活動「気延山の文化財調査」について

《質問》気延山の文化財調査についてですが、今後の方向性や計画はどうなっていますか？

《回答》指定管理最終年度になる令和 3 年度の冬季企画展の際にウォールケースを利用して成果報告を行う方向で検討しています。

具体的な報告案としては横穴式石室の残骸があり、図化を行いたいと考えています。また気延山出土とされるキヌガサ型埴輪を国府小学校から寄贈されており、これについても図化し公開したいと思っています。

⑧地域との連携の促進強化「地域の位置づけの広域化」について

《質問》計画にある地域の「広域化」はどうなりましたか？

《回答》広域化についてはコロナ感染症予防の観点から今年度は活動できませんでした。

⑨利用促進活動「啓発資料等の発刊」について

《質問》常設展パンフレットは常設展完成時期から、来年度計画に持ち送られたという事でしょうか。

《回答》現在たたき台を製作中で文化財係と内容を協議しながら新年度中に完成させます。

⑩入館者数の推移について

・令和 2 年度の入館者数は前年比 6 割程度とのことですが、埋文センターもほぼ同じです。

VI 議題 3 令和 3 年度 徳島市立考古資料館事業計画(案)について

- (1) 異議なし 6名
- (2) 異議あり 0名
- (3) 表記なし 1名 ※表記なしについては、「異議なし」として扱います。
- (4) ご意見等

①事業計画全般について

・コロナ禍のなか今後も制約が続くと思いますが、事業を進めていってください。

②展示公開事業について

ア. 特別企画展「石棒ってなんだ」について

- ・特別企画展に期待しています。
- ・特別企画展では「石棒」をテーマに取り上げるとのことですが、中後期と晩期で異なる展開をみせる面白い祭祀具ではありますが、男性器を徴したとされる遺物でもあるため、性教育への配慮が必要だと思えます。秋は小学生の見学も多いでしょうから、小中学校教員の委員の意見を十分に反映させるよう気を付けた方が良いのではないのでしょうか。

③教育普及活動について

ア. 「遺跡と遺物に学ぶ考古学講座」について

《質問》R2 年度は周辺の遺跡見学と館内の遺物解説がセットの講座でしたが、3 年度は遺跡と遺物をそれぞれ個別に扱う講座となっていますが、その意図を教えてください。

《回答》遺跡と遺物に学ぶ考古学講座は今回初めての取り組みだったこともあり、考古資料館の講座に初めて参加したという受講者が多く、そういった受講者の方から、遺物について聞きたいというニーズが寄せられたこと、また資料館から離れた遺跡についても知りたいとの要望もあり、新年度については遺跡編・遺物編という形で別けて開催することにしました。

イ. 冬季企画展「奥谷 1 号墳」の展示解説会と現地見学会について

・現地はすぐ近くなので、分けずに展示と現地説明をセットで行ってはいかがですか。

ウ. 「とくしま好古倶楽部」について

・長年続けている体験型講座はマンネリに陥りやすく、新味を出すのは難しいですが、R3 年度に予定されている「鹿角ペンダント」と「和風づくり」はどちらも作業の難易度は高いと思われそうですが、新鮮な企画だと思えます。

エ. 「レキシ・フォト・トクシマ」について

・写真講座、ユニークな企画だと思えます。写真を通じて歴史文化に興味を持っていただく良い機会になると思えます。

④調査研究活動について

・気延山調査 「研究調査成果の報告」とありますから、R3 年度で一区切りつけるのでしょうか。その後の方向性を見据えてまとめてください。

VII その他

・常設展の展示替えは順調に進んでいますか。仕上がりを楽しみにしています。また、特別企画展のテーマで石棒を取り上げていただけるとの事、大変光栄に思います。

教育とコミュニケーションを大切にしてください。

その他、ご協力できることがあればいつでも申し出てください。

コロナ禍で大変ではありますが、今年度もよろしく願い申し上げます。

・企画関連事業については、指定管理計画書に基づいて実施されており、コロナ禍での実施のため、多人数の参加は困難であることが考慮されるが、県民・市民に「資料館の活動を知ってもらうこと」は、参加不参加にかかわらず、指定管理者の重要な項目であり、マスコミ等を介した周知活動を積極的に行ってはいかがでしょうか。(同じ市立の施設として、どうしても徳島城博物館との対比になるので)

・展示公開活動、教育普及活動をはじめとする考古資料館活動に、広範囲にわたってアグレッシブにお取り組みいただき、感謝申し上げます。

・指定管理業務は多岐にわたり、大変だと思いますが、ルーティンで慣れてきて省力化できることも増えてきたことでしょうか、しっかり研究できる時間を増やし、骨太の企画を立てることで、来館者の満足→増加に繋げていってください。

徳島市立考古資料館の主要事業概要報告

(令和3年4月1日～8月22日まで)

I 徳島市立考古資料館事業実施状況

1 展示公開活動事業

(1) 常設展示

・展示室内に質問ボックスを設置し、来館者からの質問を受け付け回答を展示室入口に掲示しました。

質問件数(4月)	7件	回答件数(4月)	5件
質問件数(5月)	20件	回答件数(5月)	8件
質問件数(6月)	10件	回答件数(6月)	10件
質問件数(7月)	17件	回答件数(7月)	9件
質問件数(令和3年度累計)	54件	回答件数(令和3年度累計)	32件

※回答件数が少ないのは質問内容の重複および7月末日に回収した質問に8月に入ってから回答したため。

・常設展示展示解説会

・4月29日に実施予定の展示解説会については新型コロナウイルス感染予防の臨時休館のため、中止しました。

・5月4日に実施予定の展示解説会については新型コロナウイルス感染予防の臨時休館のため、中止しました。

・常設展示展示解説会参加者数

	男性	男子	女性	女子	合計
6月19日(土)	1	0	1	0	2
7月22日(木)	0	0	1	0	1
令和3年度累計	1	0	2	0	3

※男性・女性：高校生以上／男子・女子：中学生以下

(2) 企画展示

ア 夏季企画展 [会期：令和3年7月13日(火)～9月5日(日)]

・夏季企画展入館者数(令和3年7月13日～8月22日)

	男性	男子	女性	女子	合計
7月	267	54	101	26	448
8月	160	93	150	56	459
累計	427	147	251	82	907

※男性・女性：高校生以上／男子・女子：中学生以下

※同期間の研修室利用者数 63人

・7月17日に夏季企画展展示解説会(第1回)を実施しました。

・8月14日に夏季企画展展示解説会(第2回)を実施しました。

・夏季企画展展示解説会参加者数

	男性	男子	女性	女子	合計
第1回	0	0	2	0	2
第2回	1	0	1	1	3
累計	1	0	3	1	5

※男性・女性：高校生以上／男子・女子：中学生以下

2 教育普及活動事業

(1) 講座の開催

ア 遺跡と遺物に学ぶ考古学講座

- 第1回「阿波国分寺に学ぶ」を5月29日(土)に実施しました。

※5月28日までに23人の申し込みがありましたが、28日から29日にかけて8人からのキャンセルがありました。

- 第2回「銅鐸に学ぶ」を6月26日(土)に実施しました。
- 第3回「青銅鏡に学ぶ」を7月31日(土)に実施しました。

参加者数(中学生以上/定員各20名)

	男性	男子	女性	女子	合計
参加者(第1回)	10	0	5	0	15
参加者(第2回)	17	0	4	0	21
参加者(第3回)	14	0	3	0	17
参加者数(累計)	41	0	12	0	53

※男性・女性：高校生以上/男子・女子：中学生以下

(2) 体験学習の実施

地域文化財の学習活動

ア とくしま好古楽倶楽部

- 5月9日実施予定の第1回「火おこしに挑戦してみよう」は新型コロナウイルス感染予防の臨時休館のため、中止しました。
- 第2回「鑄造で鏡をつくってみよう」を6月13日(日)に実施しました。
- 第3回「縄文のお面をつくってみよう」を7月11日(日)に実施しました。
- 第4回「染色に挑戦してみよう」を8月8日(日)に実施しました。

とくしま好古楽倶楽部参加者数(小学生以上/定員20名)

	男性	男子	女性	女子	合計
参加者(第1回)	-	-	-	-	-
参加者(第2回)	3	7	7	5	22
参加者(第3回)	4	5	7	5	21
参加者(第4回)	3	6	11	5	25
参加者数(累計)	10	18	25	15	68

※男性・女性：高校生以上/男子・女子：中学生以下

イ ゴールデンウィーク特別企画「古墳時代のカブトづくり」

- 新型コロナウイルス感染予防の臨時休館ため、中止しました。

ウ 夏休み特別企画「ガラス勾玉づくり」

- 8月15日(日)に実施しました。

ガラス勾玉づくり参加者数(小学生以上/定員20名)

	男性	男子	女性	女子	合計
参加者	4	9	3	6	22

※男性・女性：高校生以上/男子・女子：中学生以下

エ 夏休みこども好古楽ゼミナール【重点課題②関連提案事業】

- ・ 7月23日（金）に第1回土器の勉強を開催しました。
- ・ 7月30日（金）に第2回鑄造の勉強を開催しました。
- ・ 8月 6日（金）に第3回石器の勉強を開催しました。

夏休みこども好古楽ゼミナール参加者数(小学4年生～6年生／定員15名)

		4年生	5年生	6年生	合計
第1回 (土器)	男子	1	0	1	2
	女子	0	0	1	1
	計	1	0	2	3
第2回 (鑄造)	男子	3	0	0	3
	女子	0	0	0	0
	計	3	0	0	3
第3回 (石器)	男子	3	0	0	3
	女子	0	0	0	0
	計	3	0	0	3
全3回累計		7	0	2	9

地域文化財の活用事業

ア 「歴史が薫る徳島市の風景」写真の展示【重点課題①関連提案事業】

出品件数

出品点数（4月）	0 点
出品点数（5月）	1 点
出品点数（6月）	1 点
出品点数（7月）	1 点
令和3年度累計数	3 点

イ 「レキシ・フォト・トクシマ」

- ・ 第1回 須恵器を撮るを6月20日（日）に実施しました。
- ・ 講師上野照文氏

レキシ・フォト・トクシマ参加者数（小学生以上／定員20名）

	男性	男子	女性	女子	合計
参加者(第1回)	5	1	11	0	17
参加者数(累計)	5	1	11	0	17

※男性・女性：高校生以上／男子・女子：中学生以下

(3) 市民との協働の推進

市民参画の推進

ア 考古資料館ボランティア【重点課題③関連提案事業】

ボランティア登録人数

	男性	女性	合計
登録人数（4月）	0	0	0
登録人数（5月）	0	0	0
登録人数（6月）	0	0	0
登録人数（7月）	0	0	0
登録人数（令和3年度累計）	0	0	0
登録人数（累計）	9	6	15

・ボランティア活動実績

活動日	イベント又は活動内容	男性	女性	合計
5月29日	遺跡と遺物に学ぶ考古学講座(第1回)	1	2	3
6月13日	とくしま好古楽倶楽部(第2回)	3	2	5
6月26日	遺跡と遺物に学ぶ考古学講座(第2回)	0	2	2
7月11日	とくしま好古楽倶楽部(第3回)	2	4	6
7月17日	夏季企画展展示解説会(第1回)	0	2	2
7月22日	常設展示解説会(第4回)	0	1	1
7月23日	夏休みこども好古楽ゼミナール(第1回)	1	3	4
7月25日	夏休み特別企画事前勉強会	1	4	5
7月27日	体験学習会事前準備	1	0	1
7月30日	夏休みこども好古楽ゼミナール(第2回)	1	1	2
7月31日	遺跡と遺物に学ぶ考古学講座(第3回)	1	2	3
8月6日	夏休みこども好古楽ゼミナール(第3回)	1	1	2
8月7日	とくしま好古楽倶楽部(第4回)	2	4	6
8月14日	夏季企画展展示解説会(第2回)	0	1	1
8月15日	夏休み特別企画(ガラス勾玉づくり)	2	4	6
ボランティア活動延人数(令和3年度累計)		16	33	49

NPO等との連携事業

ア 地区文化財保勝会との連携

- ・報告事項はありません。

イ 阿波こくふ街角博物館との連携及びネットワーク化

- ・報告事項はありません。

ウ 徳島県博物館協議会・四国博物館協議会との連携

- ・緊急事態宣言・まん延防止等重点措置に伴う博物館の休館措置などについて日本博物館協会と情報交換をおこないました。[4月28日]
- ・緊急事態宣言・まん延防止等重点措置に伴う博物館の休館措置などについて日本博物館協会と情報交換をおこないました。[5月11日]
- ・徳島県博物館協議会に、夏以降の催しについての情報をおくりました。[6月]

エ 四国ミュージアム研究会との連携

- ・報告事項はありません。

(4) 学校教育支援

体験学習の受入れ・出前授業

ア 体験学習の受入れについて

- ・申し込みのあった中学校の体験学習は雨天のため中止しました。[4月28日]

イ 出前授業の実施について

- ・ 出前授業の内容及び参加者数

日付	出前先学校	クラス数	学習内容	男子	女子	教員	合計
6月17日	加茂名小学校	2	勾玉・火おこし	28	20	2	50
6月21日	文理小学校	2	古墳の解説	23	18	2	43
7月1日	津田小学校	3	勾玉	50	40	3	93
7月28日	南井上コミセン	-	火おこし	9	9	4	22
令和3年度累計				110	87	11	208

※南井上コミセンは保護者が6人参加しています。

学校教育との連携

ア 勾玉づくり・火おこし体験の受入れ

- ・ 申し込み件数（令和3年度累計） 10件
- ・ 申し込みの内訳・人数

日付	内容	男性	男子	女性	女子	合計
4月6日	勾玉	1	2	3	2	8
4月7日	勾玉・火おこし	0	1	2	0	3
4月10日	勾玉	0	0	1	1	2
4月10日	勾玉	0	1	0	0	1
5月	-	-	-	-	-	-
6月20日	勾玉	0	0	1	1	2
6月20日	火おこし	0	0	1	1	2
6月26日	勾玉	0	1	2	4	7
7月18日	勾玉・火おこし	0	4	1	0	5
7月22日	勾玉・火おこし	1	0	1	0	2
7月25日	勾玉・火おこし	0	0	1	1	2
令和3年度累計		2	9	13	10	34

※男性・女性：高校生以上／男子・女子：中学生以下

イ 夏休み考古学自由研究

- ・ 報告事項はありません。

(5) 博物館実習及び職場体験の受入れ

ア 博物館実習の受入れ

- ・ 申し込みはありませんでした。

イ 職場体験の受入れ

- ・ 申し込みはありませんでした。

(6) 図書閲覧室利用機会の提供

ア 図書閲覧室の運営

- ・ 利用者の問い合わせに対して該当する図書を紹介しました。

3 調査研究活動

(1) 気延山の文化財調査

- ・奥谷2号墳のスライドフィルムのデジタル化をおこないました。
- ・奥谷2号墳墳丘測量図のデジタルトレースをおこないました。
- ・調整会議の場において踏査で発見した石室の今後の調査について文化財係と協議しました。

(2) その他

ア 特別企画展関連の調査研究

- ・石棒に関連する文献研究をおこないました。
- ・類似の企画展を開催した博物館に対して聞き取り調査をおこないました。
- ・飛騨みやがわ考古民俗館（岐阜県）で資料調査・及び展示手法等の事例調査をおこないました。 [5月13日]

イ 企画展関連の調査研究

- ・報告事項はありません。

ウ 資料展示関連の調査研究

- ・平成29年度に奈良県立橿原考古学研究と実施した考古資料館所蔵の銅鏡三次元計測の成果品を奈良県立橿原考古学研究所より受領しました。

『三次元デジタルアーカイブを活用した青銅器製作技術解明の総合的研究』
平成29年度～令和2年度科学研究費補助金 基盤研究(B)
研究代表者 水野敏典（奈良県立橿原考古学研究所）

4 資料の収集・保存活動

(1) 収集業務

- ・市民より市内出土遺物などの考古資料の寄贈の申し出が2件あり、該当資料を預かっています。寄贈希望者と調整のうえ、後日正式な寄贈手続きをおこないます。(4月)

- ・4月に寄贈の申し出があった件については2件とも寄贈を申し出た方の最終的な意向の確認がとれないため、正式な手続きについて現在保留中です。(5月)

- ・近隣住民より亡父採集の扁平片刃石斧1点の寄贈を受けました。正式な手続きについては不要とのことでした。(7月)

(2) 保存業務

- ・報告事項はありません。

5 他団体との連携

(1) 学校との連携

ア 校長会、副校長・教頭会への積極的な働きかけ

- ・冊子資料「徳島市立考古資料館体験学習のご案内」を校長会にて配布しました。(4月)

イ 学校訪問による積極的な働きかけ

- ・報告事項はありません。

ウ 出前授業の積極的な活用の推進（働きかけ）

- ・報告事項はありません。

エ バス利用への助成

- ・申し込みはありませんでした。

(2) 地域との連携促進強化

ア 「地域」の位置づけの広域化

- ・報告事項はありません。

イ 大学・博物館等との連携

- ・徳島県立博物館のリニューアルにあたり、考古資料館で撮影した古墳及び資料の画像提供をおこないました。(5月)

- ・当館所蔵の資料について、大阪府立弥生文化博物館より、特別利用の打診があり(7月)、8月11日(水)に資料調査をおこないました。

ウ 地区文化財保障会・阿波国府街角博物館・徳島県博物館協議会・四国博物館協議会・四国ミュージアム研究会との連携

- ・徳島県博物館協議会に、夏以降の催しについての情報を送りました。

(3) 各種団体との連携促進強化

ア ウォーキング協会等の団体との連携

- ・報告事項はありません。

6 その他

(1) 利用促進活動

ア 広報活動

- ・常設展示のリニューアルについてメディアを対象とした展示解説会をおこないました。
[4月22日]

参加メディア：NHK徳島放送局、四国放送、徳島新聞社、読売新聞徳島支局

- ・以下の通り考古資料館ホームページの更新をおこないました。

常設展示リニューアル案内

令和3年度とくしま好古楽倶楽部(全10回)のページ

令和3年度遺跡と遺物に学ぶ考古学講座(全8回)のページ

一宮城跡現況模型製作報告のページ

考古資料館ブログの開設及び随時更新

夏休みこども好古楽ゼミナールのページ

夏季企画展のページ

夏休み特別企画のページ

- ・ホームページ閲覧数

令和3年度累計（7月末現在） 4,052件

- ・チラシ作成件数（令和3年度累計） 6件

・夏季企画展ナゾとき考古楽8のポスター及びチラシを県内外の博物館、図書館等文化施設52ヶ所に送り、掲示を依頼しました。

・夏季企画展ナゾとき考古楽8のポスターを市内小学校33ヶ所に送り、掲示を依頼しました。

・夏季企画展ナゾとき考古楽8のポスターを市内商業施設3ヶ所に送り、掲示を依頼しました。

- ・メディア掲載数（令和3年度累計） 6件

イ 営業活動

- ・来館者アンケートを実施しました。

令和3年度累計 29件

ウ 啓発資料の発刊

- ・考古資料館年報（令和2年度）を刊行しました。
- ・図録等有償頒布資料の頒布内訳（7月末）

頒布資料	単価 (円)	頒布数	売上額 (円)
平成25年度シンポジウム資料	1,000	1	1,000
平成26年度特別企画展図録（馬）	500	2	1,000
平成27年度特別企画展図録（FACE）	500	2	1,000
平成28年度特別企画展図録（刀剣）	500	2	1,000
平成29年度特別企画展図録（江戸）	600	5	3,000
平成30年度特別企画展図録（里帰り）	850	2	1,700
令和元年度特別企画展図録（宮谷）	600	6	3,600
令和2年度特別企画展図録（音）	550	8	4,400
合計		28	16,700

- ・考古資料館パンフレットが完成したので、館内に設置したほか、徳島城博物館などに配布し設置を依頼しました。

(2) 古代ロマンへの旅バスツアー〈自主事業；10月実施予定〉

- ・報告する事項はありません。

II 徳島市立考古資料館管理事業実施状況

1 施設の維持管理

(1) 環境維持管理業務

ア 清掃業務

- ・適切に実施しています。

イ 植栽管理業務

- ・職員による雑草の刈り取り・除草を随時実施しています。
- ・立木剪定、除草清掃を適時に実施しています。[委託先：市シルバー人材センター]
- ・消毒及び施肥作業等を適切に実施しています。[委託先：徳島末広園]
- ・プランターの植栽管理等を適切に実施しています。[委託先：徳島末広園]

ウ 廃棄物処理業務

- ・適切に実施しています。[委託先：佐々木エンジニア]

エ 燻蒸業務

- ・8月16日に展示室及び収蔵庫の燻蒸消毒作業を実施しました。[委託先：イカリ消毒]

オ 警備業務・機械警備業務

- ・適切に実施しています。[委託先：日本ガード]

(2) 保守管理業務

ア 電気設備保守点検業務

- ・毎月1度の点検を実施しています。[委託先：田中電気]

イ 消防設備保守点検業務

- ・6か月に1度の点検を予定しています。[委託先：中央防災]

ウ 浄化槽法定検査

- ・年に1度の点検を予定しています。[委託先：徳島県環境技術センター]

エ 浄化槽等維持管理業務

- ・毎月1度点検を実施しています。[委託先：ダイキアクシス]

オ 自動扉設備点検業務

- ・4か月1度点検を実施しています。[委託先：ドアメンテ徳島]

カ 館内照明

- ・報告する事項はありません。

キ 館外照明

- ・報告する事項はありません。

ク 建築物等定期点検

- ・報告する事項はありません。

2 研修室及び付属設備の利用承諾並びに利用促進

(1) 敷地内に利用促進のためのポスター掲示

- ・とくしま好古楽倶楽部のポスターを館内及び屋外掲示板に掲示しました。
- ・遺跡と遺物に学ぶ考古学講座のポスターを館内及び屋外掲示板に掲示しました。
- ・ゴールデンウィーク特別企画のポスターを館内及び屋外掲示板に掲示しました。
- ・常設展示解説会のポスターを館内に掲示しました。
- ・レキシ・フォト・トクシマのポスターを館内に掲示しました。
- ・夏休みこども好古楽ゼミナールのポスターを館内及び屋外掲示板に掲示しました。
- ・歴史が薫る徳島市の風景（写真募集）のポスターを館内及び屋外掲示板に掲示しました。
- ・夏季企画展ナゾとき考古楽8のポスターを館内及び屋外掲示板に掲示しました。

(2) 館内に自動販売機を設置〈自主事業〉

- ・株式会社福村との契約を更新しました。
- ・7月31日までの売り上げ

売 上 本 数	321 本
売 上 金 額	42,580 円
売り上げ手数料	8,677 円

3 徳島市立考古資料館資料（貸与資料）の保存管理

(1) 展示資料の管理

- ・閉館前に展示資料の点検を適切に実施しました。
- ・展示資料台帳を作成中です。
台帳用紙への記入・貼り付け

(2) 収蔵資料の管理

- ・適切に実施しております。

4 図書資料の管理

(1) 図書閲覧室の図書資料の管理

- ・報告する事項はありません。

(2) 館宛寄贈図書資料の管理

令和3年度寄贈図書累計 17 冊

1	図書名	『茨木市歴史的建造物調査報告書 II (寺院編)』
	寄贈元	茨木市教育委員会
2	図書名	『綾部市資料館報：施福寺文化財調査報告』
	寄贈元	綾部市資料館
3	図書名	『甲賀市文化財報告書33：平成30年度 市内遺跡発掘調査報告書』
	寄贈元	甲賀市教育委員会
4	図書名	『普源田砦跡』
	寄贈元	島根県教育委員会
5	図書名	『団子山古墳8：福島県須賀川市団子山古墳第10次調査報告書』
	寄贈元	福島大学行政政策学類考古学研究室
6	図書名	『令和2年度木津川市内遺跡発掘調査報告書』
	寄贈元	木津川市教育委員会
7	図書名	『日本文明論』
	寄贈元	高木勲
8	図書名	『研究紀要 第9号』
	寄贈元	福岡市博物館
9	図書名	『研究紀要 第10号』
	寄贈元	福岡市博物館
10	図書名	大手前大学史学研究所紀要 第15号
	寄贈元	大手前大学史学研究所
11	図書名	久金属工業調査報告書
	寄贈元	大手前大学史学研究所
12	図書名	室津・大浦海岸海揚がり調査報告書
	寄贈元	大手前大学史学研究所
13	図書名	赤色顔料生産遺跡及び関連遺跡の調査
	寄贈元	徳島県未来創生文化部
14	図書名	栗東市埋蔵文化財調査報告 令和元年度年報
	寄贈元	(公財)栗東市教育委員会スポーツ協会文化財調査課
15	図書名	史跡美濃国分寺跡整備基本計画
	寄贈元	大垣市教育委員会
16	図書名	高知県立高知城歴史博物館年報第5号
	寄贈元	公益財団法人 土佐山内記念財団
17	図書名	愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 2019年
	寄贈元	愛媛大学先端研究・学術推進機構・埋蔵文化財調査室

5 グッズ販売〈自主事業〉

・グッズ販売（7月末現在）内訳

品名	価格 (円)	販売数	計 (円)
ハンカチ	700	2	1,400
陶器製銅鐸	1,700	0	0
総計		2	1,400

Ⅲ 会議実施状況

1 徳島市立考古資料館協議会

- ・令和2年度徳島市立考古資料館協議会第2回の書面表決の取りまとめをおこないました。

2 連絡調整会議

- ・4月21日（13:30～）に実施しました。

会議出席者	[教育委員会]	管理係長、管理係職員2人
	[指定管理者]	館長、事務長、主任学芸員、学芸員

- ・6月29日（13:30～）に実施しました。

会議出席者	社会教育課	管理係長、管理係職員2人、文化財係職員2人
	資料館	館長、事務長、主任学芸員、学芸員

3 学芸会議

- ・4月21日（10:00～）に実施しました。

会議出席者	本部	事務局長
	資料館	館長、事務長、主任学芸員、学芸員

- ・5月21日（10:00～）に実施しました。

会議出席者	本部	参与
	資料館	館長、事務長、主任学芸員、学芸員

- ・6月23日（10:00～）に実施しました。

会議出席者	本部	事務局長
	資料館	館長、事務長、主任学芸員、学芸員

- ・7月16日（10:00～）に実施しました。

会議出席者	本部	常務理事
	資料館	館長、事務長、主任学芸員、学芸員

IV 入館者推移

令和3年度考古資料館入館者数(4月1日～7月31日)

	開館日数	男性		女性		合計	前年比
		高校生以上	中学生以下	高校生以上	中学生以下		
4月	24日	328人	91人	251人	51人	721人	189%
5月	8日	68人	32人	67人	3人	170人	159%
6月	26日	251人	43人	239人	32人	565人	131%
7月	27日	328人	65人	193人	32人	618人	139%
合計	85日	975人	231人	750人	118人	2,074人	152%

令和2年度考古資料館入館者数(4月1日～7月31日)

	開館日数	男性		女性		合計
		高校生以上	中学生以下	高校生以上	中学生以下	
4月	18日	92人	184人	51人	55人	382人
5月	6日	61人	6人	40人	0人	107人
6月	25日	175人	27人	179人	50人	431人
7月	27日	189人	29人	214人	14人	446人
合計	76日	517人	246人	484人	119人	1,366人

令和3年度 徳島市立考古資料館事業計画

※赤字表記部が当初案との変更部です

I 徳島市立考古資料館事業

1 展示公開活動事業

(1) 常設展示

- ・良好な展示環境を維持します。
- ・常設展のリニューアルにあたり、毎月1回常設展示の解説会をします。

日時：4月29日（木・祝）※中止・5月4日（火・祝）※中止・6月19日（土）・
7月22日（木・祝）8月13日（金）・9月29日（水）・10月15日（金）・
11月9日（火）・12月16日（木）・令和4年1月10日（月・祝）・
2月11日（金・祝）・3月6日（日）

※全12回。いずれの日も11時～12時まで。

(2) 企画展示

企画展を年2回、特別企画展を年1回開催します。

ア 夏季企画展

- (ア) 展覧会名 「ナゾとき考古学8 **Doki!Doki!考古資料館**」
- (イ) 会 期 令和3年7月13日（火）～令和3年9月5日（日）開館日数48日
- (ウ) 内 容 「夏休み子どもミュージアム」として開催。徳島市立考古資料館で保管している考古学の謎解きに関する考古資料及び関連資料を展示します。
- (エ) 担 当 村田主任学芸員・大栗学芸員

イ 特別企画展

- (ア) 展覧会名 令和3年度特別企画展 「**石棒ってなんだ!?**」
- (イ) 会 期 令和3年9月22日（水）～令和3年11月28日（日）開館日数56日
- (ウ) 内 容 縄文時代の祭祀具である石棒に焦点を当てた展示をおこないます。
- (エ) 担 当 村田主任学芸員・大栗学芸員

ウ 冬季企画展

- (ア) 展覧会名 令和3年度冬季企画展 「徳島市の遺跡Ⅷ 奥谷1号墳」
- (イ) 会 期 令和4年1月25日（火）～令和4年3月21日（月・祝）開館日数48日
- (ウ) 内 容 気延山古墳群を構成する古墳の一つである奥谷1号墳に焦点を当てた展示をおこないます。**また、資料館がおこなってきた気延山の文化財調査の成果について併せて紹介を行います。**
- (エ) 担 当 村田主任学芸員・大栗学芸員

(3) 企画展記念講演会

ア 特別企画展記念講演会

特別企画展「石棒ってなんだ!？」を記念した講演会を開催します。

第1回

- (ア) 開催日時 令和3年10月30日(土) 14時～16時
- (イ) 開催場所 徳島市立考古資料館研修室
- (ウ) 演 題 「徳島の石棒(仮題)」
- (エ) 講 師 中村豊氏 徳島大学大学院総合科学研究部教授
- (オ) 定 員 40名。先着順。

第2回

- (ア) 開催日時 令和3年11月20日(土) 14時～16時
- (イ) 開催場所 徳島市立考古資料館研修室
- (ウ) 演 題 「徳島の縄文遺跡からみえること-徳島市城山貝塚・佐古町三谷遺跡・国府町矢野遺跡-」
- (エ) 講 師 湯浅利彦氏 公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター専務理事
- (オ) 定 員 40名。先着順。

イ 冬季企画展記念講演会

冬季企画展「徳島市の遺跡Ⅷ 奥谷1号墳」を記念した講演会を開催します。

- (ア) 開催日時 令和4年2月26日(土) 14時～16時
- (イ) 開催場所 徳島市立考古資料館研修室
- (ウ) 演 題 「奥谷1号墳の発掘調査(仮題)」
- (エ) 講 師 三宅良明氏 徳島市教育委員会
- (オ) 定 員 40名。先着順。

2 教育普及活動事業

(1) 講座の開催

ア 遺跡と遺物に学ぶ考古学講座

生涯学習支援事業の一環として、公開講座を開催します。

- (ア) 開催日時 令和3年5月29日(土) から全8回 14時～15時30分
- (イ) 開催場所 徳島市立考古資料館展示室及び現地
- (ウ) 定 員 20名。先着順。

(エ) 内 容

日時	内容	日時	内容
第 1 回 5 月 29 日 (土)	阿波国分寺に学ぶ (遺跡編)	第 5 回 9 月 25 日 (土)	土器に学ぶ (遺物編)
第 2 回 6 月 26 日 (土)	銅鐸に学ぶ (遺物編)	第 6 回 11 月 27 日 (土)	一宮城跡に学ぶ (遺跡編)
第 3 回 7 月 31 日 (土)	青銅鏡に学ぶ (遺物編)	第 7 回 12 月 25 日 (土)	渋野丸山古墳に学ぶ (遺跡編)
第 4 回 8 月 28 日 (土)	埴輪に学ぶ (遺物編) ※感染症対策のため中止	第 8 回 1 月 29 日 (土)	八倉比売神社古墳群に学ぶ (遺跡編)

(オ) 担 当 村田主任学芸員・大栗学芸員

イ 企画展関連事業

徳島市立考古資料館で開催する特別企画展や企画展に関連するイベントを実施することにより、企画展示でとりあげる資料または遺跡に対する興味をより深め、徳島市の歴史や文化についてより詳しく知る機会とすることを目的とします。

夏季企画展関連事業「展示解説会」

(ア) 開催日時 令和3年7月17日(土)・8月14日(土)・8月29日(日) ※中止
※全3回。いずれの日も11時～12時。

(イ) 開催場所 徳島市立考古資料館展示室

(ウ) 対 象 どなたでも

特別企画展関連事業「展示解説会」

(ア) 開催日時 令和3年9月23日(木・祝)・10月3日(日)・10月30日(土)
11月28日(日) ※全4回。いずれの日も13時～14時。

(イ) 開催場所 徳島市立考古資料館展示室

(ウ) 対 象 どなたでも

冬季企画展関連事業「現地・展示解説会」

(ア) 開催日時 令和4年1月29日(土)・2月6日(日)・2月26日(土)
3月21日(月・祝) ※全4回。いずれの日も12時30分～14時。

(イ) 開催場所 奥谷1号墳・徳島市立考古資料館展示室

(ウ) 対 象 どなたでも

冬季企画展関連事業「気延山の古墳巡り」

(ア) 開催日時 令和4年3月6日(日) 13時～

(イ) 開催場所 気延山古墳群 ※雨天中止

(ウ) 募集人員 小学生以上(小学生は保護者同伴) 20名。先着順。

(エ) 内 容 奥谷1号墳等を歩いて見学し、現地で解説をおこないます。

(オ) 担 当 村田主任学芸員・大栗学芸員

(2) 体験学習の実施

地域文化財の学習活動

ア とくしま好古楽倶楽部

考古資料から類推される技法や古くから伝わる技術について実践や実験を行うことにより、考古学への興味を高め、年齢や性別を超えたコミュニティーづくりを目指して開催します。

- (ア) 開催日時 令和3年5月9日（日）から令和4年2月13日（日）までの全10回
13時～16時（原則として第2日曜日）
- (イ) 開催場所 徳島市立考古資料館研修室ほか
- (ウ) 対象 小学生以上（小学生は保護者同伴）
- (エ) 定員 20名。先着順。
- (オ) 内容

	開催日	体験学習の内容
第1回	5月9日※休館のため中止	火おこしに挑戦してみよう
第2回	6月13日	鑄造で鏡をつくってみよう
第3回	7月11日	縄文のお面をつくってみよう
第4回	8月8日	染色に挑戦してみよう
第5回	9月12日※感染症対策のため中止	勾玉をつくってみよう
第6回	10月10日	カゴを編んでみよう
第7回	11月14日	鹿の角でペンダントをつくってみよう
第8回	12月12日	人形（ヒトガタ）をつくってみよう
第9回	1月9日	和風をつくって揚げてみよう
第10回	2月13日	円筒埴輪をつくってみよう

- (カ) 担当 村田主任学芸員・大栗学芸員

イ ゴールデンウィーク特別企画 ※休館のため中止

「古墳時代のカブトづくり」

- (ア) 開催日時 令和3年5月5日（水・祝）10時～16時
- (イ) 対象 小学生以上
- (ウ) 募集人員 20名〔先着順：4月1日（木）9時30分受付開始〕
- (エ) 内容 工作用紙で古墳時代のカブトを作ります。

ウ 夏休み特別企画

「ガラス勾玉づくり」

- (ア) 開催日時 令和3年8月15日（日）10時～16時
- (イ) 対象 小学生以上
- (ウ) 募集人員 20名〔先着順：7月15日（木）9時30分受付開始〕
- (エ) 内容 自分で鑄型を彫ってガラス勾玉をつくります。

エ 秋の特別企画

「文化財ウォーク」

- (ア) 開催日時 令和3年11月3日(水・祝) 13時～16時30分
- (イ) 対象 小学生以上
- (ウ) 募集人員 20名〔先着順：10月1日(金) 9時30分受付開始〕
- (エ) 内容 資料館周辺の遺跡を徒歩で巡り、学芸員が解説します。

オ 夏休みこども好古楽ゼミナール 【重点課題②関連提案事業】

従来の体験型学習だけではなく座学を組み合わせた学習を実施することにより、子供たちが徳島市の歴史や文化財について高度な知識を得る機会にするとともに、文化財を次世代に伝えるにあたりリーダー的存在になる人物を育む機会にします。

- (ア) 開催日時 令和3年7月23日(金・祝) から令和3年8月6日(金) までの全3回
10時～15時
- (イ) 開催場所 徳島市立考古資料館研修室
- (ウ) 対象 小学校4年生から6年生
- (エ) 定員 15名(各回)〔7月1日(木) 9時30分受付開始、先着順。〕
- (オ) 内容

日時	タイトル	日時	タイトル
7月23日(金・祝)	土器の勉強	8月6日(金)	石器の勉強
7月30日(金)	鑄造の勉強		

- (カ) 担当 村田主任学芸員・大栗学芸員

地域文化財の活用事業

ア 「歴史が薫る徳島市の風景」写真の展示 【重点課題①関連提案事業】

徳島市内で歴史や文化の雰囲気をつたえた風景写真を広く市民から募り、徳島市立考古資料館内で写真作品の展示をおこないます。

- (ア) 目的 デジタルカメラの性能の向上により多くの市民がカメラを日常的に携帯するようになった昨今、市民が感じた徳島市の歴史的、文化的風景写真を集めて写真展を開催することで、新たな来館者層の開拓を図ります。また、市民が徳島市内のどのような風景の中に歴史や文化を感じているのか応募作品の写真を通してモニタリングすることにより、今後の徳島市の文化財啓発の参考にします。
- (イ) 開催場所 徳島市立考古資料館展示室・ラウンジなど
- (ウ) 募集期間 令和3年4月1日(木)～
- (エ) 応募方法 徳島市立考古資料館へ直接持参、郵送、メールいずれかの方法
- (オ) 作品の返却 希望者のみ

イ 「レキシ・フォト・トクシマ」

徳島市の文化財の認知と活用に向け、考古資料館が主催する写真講座を開催します。県内の写真家を講師として招き、写真撮影のテクニックについて学ぶほか、参加者が撮影した写真は展示や印刷物に掲載し、市内の文化財の紹介に活用します。

- (ア) 開催日時 令和3年6月20日(日)と令和3年10月17日(日)の全2回
10時～12時
- (イ) 開催場所 第1回 徳島市立考古資料館研修室 第2回 現地
- (ウ) 対 象 中学生以上、カメラ持参できる人(カメラの機種は問いません。)
- (エ) 定 員 15名(各回)〔第1回5月15日(土)、第2回9月15日(水)受付〕
- (オ) 内 容

日時	講師	内容
6月20日(日)	上野照文氏	考古資料館内で須恵器の撮影(館内)
10月17日(日)	上野照文氏	蔵珠院の茶室・本堂・境内にて撮影(館外)

(3) 市民との協働の推進

市民参画の推進

ア “考古資料館ボランティア”【重点課題③関連提案事業】

重点課題③「市民ボランティアを活用したフィールドワーク等の実施を通じて、事業成果を還元する施設づくり」のためにボランティア組織をつくります。

- (ア) 概 要 徳島市立考古資料館で実施する事業のうち、主に体験学習について企画・準備・指導または展示解説、新しくなった常設展示の展示解説に向けての勉強会、徳島市の歴史や文化に関連する資料の調査やそれらの情報整理をおこないます。
- (イ) 周知方法 18歳以上の方を対象に、4月から募集します。徳島市立考古資料館ホームページや徳島市立考古資料館 FaceBook にも掲載します。また、ポスターやチラシを生涯学習施設に重点配布して掲示や設置を依頼します。さらに、市広報及び外部メディアへ働きかけて情報発信をおこないます。
- (ウ) 応募方法 ・電話(088-637-2526) ・ファクシミリ(088-642-6916)
・電子メール(gakugei@tokushima-kouko.jp) ・来館
- (エ) 活動内容 ・学芸員が様々な体験学習の方法を指導し、小規模な体験学習での実習をおこなうほか、新規事業の企画立案への参加も検討します。
・従来の“共動研究員”が調査してきた内容に加え、徳島市内全域にわたり調査し、地図にまとめて公開します。
- (オ) 担 当 村田主任学芸員・大栗学芸員

NPO等との連携事業

ア 地区文化財保勝会との連携

市内全域にわたる遺跡や史跡の「文化財学習」を、文化財保護活動を推進する市内30地区の文化財保勝会と連携して実施します。

イ 阿波こくふ街角博物館との連携及びネットワーク化

阿波こくふ街角博物館を積極的に紹介して、「阿波こくふ街角博物館」全体が活性化するように推進します。

ウ 徳島県博物館協議会・四国博物館協議会との連携

徳島県博物館協議会に加盟している徳島県内の50館や四国博物館協議会に加盟している四国内の76館それぞれと連携を密にとり資料の貸借や情報の交換等相互協力を行い、考古資料館活動のより一層の振興を図るように努めます。

エ 四国ミュージアム研究会との連携

四国四県に所在する博物館に勤務する学芸員の任意団体である四国ミュージアム研究会と連携することにより、博物館が抱える課題の克服、新しい時代の博物館教育の在り方などのノウハウを共有することで、先進的かつ効率的な博物館運営が行えるように努めます。

(4) 学校教育支援

体験学習の受入れ・出前授業

ア 体験学習の受入れについて

(ア) 概要 地域学習または歴史学習の授業で来館した小中学校の児童生徒に対して、体験学習をおこないます。

(イ) 内容 展示解説、火おこし体験、勾玉づくり、矢野古墳の見学

イ 出前授業の実施について

(ア) 概要 徳島市立考古資料館への来館が困難な学校などに対して、徳島市立考古資料館の職員が学校へ出向いて体験学習や歴史教育をおこなうアウトリーチをおこないます。

(イ) 内容 火おこし体験、勾玉づくり、徳島市の歴史や文化を紹介する地域史教育

学校教育との連携

ア 勾玉づくり・火おこし体験の受入れ

徳島市立考古資料館で実施している勾玉づくり・火おこし体験について、個人レベルでの体験申込に応じます。

イ 夏休み考古学自由研究

考古学に関連した夏休みの自由研究に対して、支援を積極的に推進します。

(ア) 開催日時 夏休み期間中は随時受け入れます。

(イ) 開催場所 徳島市立考古資料館会議室及び図書閲覧室

(5) 博物館実習及び職場体験の受入れ

ア 博物館実習の受入れ

博物館学芸員資格取得を目指す徳島大学・四国大学の学生および、近隣地域出身者で県外の大学に進学している学生を対象とします。実施時期は、8/3（火）～8/8（日・祝）におこないます。

実施期間については実習を依頼する学校と調整し、学校から要望がない場合は、実習時間の目安とされる延30～45時間以上になるように設定します。実習の内容は、『博物館実習ガイドライン』に則り、博物館学芸員として必要とされる知識や技術、考え方などを学べるよう適切な内容で進めていきます。

イ 職場体験の受入れ

市内及び近隣地域の中学校が実施する地域職場体験の生徒を対象とします。実施時期は、地域職場体験を実施する中学校と相談し、休館日を除いて極力、中学校の希望に添える日程で実施します。職場体験に参加する生徒には、調査や記録といった所蔵資料に実際に触れる作業、または徳島市立考古資料館で展示している資料を題材に一般向けの普及啓発資料の作成といった博物館でしか経験できない作業を体験してもらいます。

(6) 図書閲覧室利用機会の提供

ア 図書閲覧室の運営

歴史・考古学系の図書を充実させ、市民の歴史教育の場としての利用を促進します。また、徳島市内の遺跡の発掘調査報告書などの資料を充実させることで、市民が利用できる徳島市の歴史や文化財の情報拠点になるよう努めます。

3 調査研究活動

(1) 研究名称

「気延山の文化財調査」

実施計画

- ア 記録・写真等の整理
- イ 近隣地域での類例の収集・検討
- ウ 研究成果の報告

(2) その他

市民に「徳島市の歴史と文化」を正しく理解してもらうため、特別企画展や企画展に関連したテーマに関し展示資料や関連資料について他地域と比較検討を行い、普及啓発に生かします。

ア 特別企画展関連の調査研究

特別企画展のテーマに関する展示資料等の事前調査及び関連した講演会や研修会に参加します。

イ 企画展関連の調査研究

企画展のテーマに関する展示資料の事前調査及び関連した講演会や研修会に参加します。

ウ 資料展示関連の調査研究

資料の展示方法等に関する調査研究を随時実施します。

4 資料の収集・保存活動

(1) 収集業務

市民が所有する文化財などの資料について、その保管が困難になった場合、あるいは適切な環境下での保管が必要と認められた場合、寄贈や寄託という形で徳島市立考古資料館に収蔵します。収蔵にあたっては、徳島市立考古資料館学芸員によって当該資料の調査と記録をおこなった上で、教育委員会社会教育課と協議の上で適切な対応を取ります。

(2) 保存業務

徳島市立考古資料館に貸与される資料について、資料管理の根幹となる収蔵品台帳を作成します。収蔵品台帳には、基本的な情報と共に展示番号または収蔵コンテナ番号等を記録し、資料の現状が把握できるように努めます。収蔵庫に保管する資料については、コンテナに収納するなど適切な状態で保管し、保管場所を把握しやすいよう整理整頓に努めます。

5 他団体との連携

(1) 学校との連携

ア 校長会、副校長・教頭会への積極的な働きかけ

(ア) 年度当初に小学校校長会及び教頭会で考古資料館の事業活動について紹介させてもらう機会を通じて、考古資料館における小学校6年生をはじめとする歴史学習や体験学習（火おこし・勾玉づくり体験、展示見学）に積極的に参加してもらうための働きかけを促進します。

(イ) 中学校長会及び副校長・教頭会、高等学校長会及び副校長・教頭会の積極的な働きかけにより、全国的な博物館・資料館の課題の一つとされる「中・高校生の利用促進」の新たな利用者の拡大に努めます。

イ 学校訪問による積極的な働きかけ

年度当初に学校訪問を積極的に実施して、利用者の拡大を一層推進します。

ウ 出前授業の積極的な活用の推進

小学校だけでなく、中学校や高等学校へも出前授業（土器・石器などの考古資料を学校に持ち込んでの歴史学習や火おこし道具を持ち込んでの火おこし体験）の積極的な活用を働きかけ、徳島市立考古資料館の利用促進につなげます。

エ バス利用への助成

学校との連携強化のための一環として、小学校の児童（6年生中心）の歴史学習での考古資料館へのバス利用に対して、一部助成を実施して利用促進を図ります。

(2) 地域との連携の促進強化

ア 「地域」の位置づけの広域化

地元の国府町を含めた徳島市全域及び周辺（石井町等）を広域の「地域」として位置づけ、展覧会のテーマ設定においても、鮎喰川流域だけでなく園瀬川流域も取り上げ、より広範囲の人々の利用促進とともに連携強化を促進します。

イ 大学・博物館等との連携

徳島大学埋蔵文化財調査室、徳島県立埋蔵文化財総合センター、徳島県立博物館など、他の博物館及び関係機関との相互の資料貸借や講師派遣による連携強化を積極的に推進します。

ウ 地区文化財保勝会・阿波こくふ街角博物館・徳島県博物館協議会・四国博物館協議会・四国ミュージアム研究会などとの連携

(3) 各種団体との連携の促進強化

ア ウォーキング協会等の団体との連携

文化財めぐりの魅力あふれるコース作り

6 その他

(1) 利用促進活動

徳島市立考古資料館の事業活動に関連して、広報活動や営業活動を通じて、市民ニーズに即した最新考古学情報の発信に努め、より一層市民サービスの向上に努めます。

ア 広報活動

- | | |
|-----------------|-------------|
| (ア) 夏季企画展の広報 | ポスター・チラシの発行 |
| (イ) 特別企画展の広報 | ポスター・チラシの発行 |
| (ウ) 冬季企画展の広報 | ポスター・チラシの発行 |
| (エ) イベントガイド | パンフレットの発行 |
| (オ) ホームページの管理運営 | |

イ 営業活動

- | | |
|--------------|-----------------------------------|
| (ア) アンケートの実施 | 常設展及び企画展に関するアンケートを実施します。 |
| (イ) 学校等誘致活動 | 学校訪問やチラシ配布等を積極的に推進します。 |
| (ウ) 観光客誘致活動 | ホテルにパンフレットを配布し、観光客誘致活動を積極的に推進します。 |
| (エ) その他の営業活動 | 館のイメージアップ、周知のPR活動を積極的に推進します。 |

ウ 啓発資料等の発刊

- | | |
|---------------|-----------------|
| (ア) 館報（年報）の発行 | 令和2年度版の発行（100部） |
|---------------|-----------------|

- (イ) 常設展示の啓発 パンフレット発行（15,000部）
- (ウ) 特別企画展での啓発 図録発行（500部）
- (エ) 夏季企画展での啓発 パンフレット発行（500部）
- (オ) 冬季企画展での啓発 パンフレット発行（1,000部）

(2) 「古代ロマンへの旅バスツアー」 〈自主事業〉

- (ア) 開催日時 令和3年10月24日（日）7時～20時
- (イ) 対 象 徳島市内及び周辺在住者
- (ウ) 募集人員 20名〔先着順：9月25日（土）9時30分受付開始〕
- (エ) 内 容 出雲弥生の森博物館、島根県立古代歴史博物館等を見学します。
- (オ) そ の 他 参加費（10,000円程度）

※ 新型コロナウイルス感染症の収束など参加者の安全が確保出来れば、実施します。

II 徳島市立考古資料館管理事業

1 施設の維持管理

徳島市立考古資料館の館内施設と館外施設の管理及び整備を積極的に実施して、徳島市立考古資料館の利用者に快適な環境を提供して、市民サービスの向上に努めます。

(1) 環境維持管理業務

- ア 清掃業務 日常清掃（館内・館外・便所清掃）
定期清掃（館内清掃・館外排水設備清掃）
- イ 植栽管理業務 植栽業務（敷地内庭園の植栽・除草・施肥）
剪定業務（敷地内の樹木の剪定及び芝生の管理）
- ウ 廃棄物処理業務 廃棄物の収集・処分
- エ 燻蒸業務 展示室・収蔵庫等の燻蒸
- オ 警備業務・機械警備業務 防犯・防災

(2) 保守管理業務

館内外の施設の保守管理や整備等を促進して、徳島市立考古資料館の利用者に快適な環境を提供して、市民サービスの向上に努めます。

- ア 電気設備保守点検業務 電気設備の定期的な保守点検業務の実施
- イ 消防設備保守点検業務 消防用設備の定期的な保守点検業務の実施及び所轄消防署
への報告書の提出
- ウ 浄化槽法定検査 浄化槽法定検査の実施
- エ 浄化槽等維持管理業務 浄化槽等設備の保守点検・清掃等と水質管理や設備性能の
維持に必要な業務の実施
- オ 自動扉設備点検業務 自動扉設備の法定定期点検の実施
- カ 館内照明 館内照明機器の管理

キ 館外照明	館外照明機器の管理
ク 建築物等定期点検	建築物・空調設備定期点検の実施及び報告（3年に1回一令和2年度に実施）

2 研修室及び附属設備の利用承諾並びに利用促進

- (1) 敷地内に利用促進のためのポスター掲示
- (2) 館内に自動販売機を設置〈自主事業〉

3 徳島市立考古資料館資料（貸与資料）の保存管理

- (1) 展示資料の管理
- (2) 収蔵資料の管理

4 図書資料の管理

- (1) 図書閲覧室の図書資料の管理
- (2) 館宛寄贈図書資料の管理

5 グッズ販売〈自主事業〉

陶器製銅鐸、絵はがき、藍染ハンカチの販売をします。

Ⅲ 会 議

1 徳島市立考古資料館協議会

(1) 目 的

徳島市立考古資料館の事業活動をはじめとする管理運営について、専門的立場から審議していただく。

(2) 開催日等

第1回目

- ア 開催日時 令和3年8月下旬 13時30分～15時30分
イ 開催場所 徳島市立考古資料館研修室
ウ 協議内容
 (ア) 令和2年度 第2回 徳島市立考古資料館協議会事業報告について
 (イ) 令和3年度 徳島市立考古資料館事業計画について
 (ウ) 令和3年4月～8月の主要事業概要報告について
 (エ) その他

第2回目

- ア 開催日時 令和4年3月下旬 13時30分～15時30分
イ 開催場所 徳島市立考古資料館研修室
ウ 協議内容
 (ア) 令和3年度 第1回 徳島市立考古資料館協議会会議抄録報告について
 (イ) 令和3年度 徳島市立考古資料館事業報告について
 (ウ) 令和4年度 徳島市立考古資料館事業計画（案）について
 (エ) その他